

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間: 2023年1月1日～12月31日

発行日: 2024年4月20日

株式会社 飯 田

環境経営レポート目次

1、組織の概要	1
2、対象範囲(認証・登録範囲)	1
レポートの対象期間及び発行日	
3、組織図(実施体制)	2
4、環境経営方針	3
5、環境経営目標	4
6、環境活動計画	5
7、環境経営目標の実績	6
8、環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
9、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反・訴訟等の有無	8
10、代表者による全体評価と見直しの結果	8

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 飯 田
代表取締役 飯田郁代

2) 所在地

愛知県名古屋市昭和区妙見町99番地の8

3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 飯田郁代
電 話 : 052-832-2191
F A X : 052-832-2192
E-mail : iida@kmh.biglobe.ne.jp

4) 事業内容

工作機械・産業機械・機械工具
そ の 他 関 連 機 器 販 売

5) 事業規模

法人設立年月日:1973年1月27日
資 本 金 : 1200万円
従 業 員 数 : 5名(パート3名含む)
延 べ 床 面 積 : 160m²

2. 認証・登録の対象範囲

全組織・全活動を認証・登録範囲としています

3. 組 織 図(実施体制)

作 成 2024年4月20日

作成責任者 飯田郁代



総数5人

役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	飯田郁代	環境経営方針作成、資源等(費用、時間、情報等)の管理、システム見直し指示
環境管理責任者	同上	資源等の管理、システムの構築運用維持、評価
		計画・教育・事務管理
従業員		環境経営方針の理解と取り組みへの実施

4. 環境経営方針

基本理念

株式会社飯田は、販売サービスを提供する企業として社会に貢献する。
環境汚染の予防と環境保全の継続的改善により、地球温暖化の防止と
循環型社会の形成を目指す。

基本方針

1. 環境関連の法規及び当社が同意するその他の合意事項を順守する
2. 省エネルギーに取り組み、CO2排出量を削減する
3. リデュース・リユース・リサイクルを推進し、廃棄物を減少する
4. グリーン購入を促進し、資源を有効活用する
5. 自らが販売・提供する製品の環境配慮を推進する
6. 環境目標を設定し、定期的に見直しをする
7. 環境経営方針を作成し、全社員に周知する

策定日 2007年12月20日

改定日 2020年9月3日

株式会社 飯 田

代表取締役
飯田 郁代

5. 環境経営目標

	2022年度 基準年度	2023年度 削減目標(0.5%)	2024年度 削減目標(1%)	2025年度 削減目標(1.5%)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	9,781	9,732	9,683	9,634
ギ-総 ー使用 エネ ル 電 気 使 用 量 kWh	6,448	6,416	6,384	6,352
ガソリン使用量 (ℓ)	3,991	3,971	3,951	3,931
軽油使用量 ℓ	827	823	819	815
廃棄物排出量 (kg)	62	61	59	57
OA用紙 (kg)	41	39	37	35
環境配慮製品の提供	行動目標	環境配慮製品の増加	梱包の簡素化	

*年度とは、1月～12月までとする

*化学物質(PRTR制度対象物質)の取り扱いはありません。

- 1) 二酸化炭素排出量は、購入電力量、ガソリン・軽油の使用量の合計としました。
但し 使用電力のCO₂排出係数は、リー-のR3年度排出係数0.271kg-CO₂/kWhを使用
- 2) 廃棄物排出量は、一般廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ)の合計です。
上記取り組みの一環としてOA用紙削減の目標数値を作成しました。
- 3) 水使用量は、非常に少量の為目標値は設定いたしません、節水に努めます。
- 4) 環境配慮製品の提供
梱包の簡素化

6. 環境経営計画

実施期間を2023年1月～12月とし、全社員で取組む

1) 二酸化炭素排出量の削減取り組み

- 購入電力量： ① 不要照明の消灯の徹底
② 空調設定温度の見直し
・夏季は冷房設定温度26℃ 目標は28℃とする。
・冬季は暖房設定温度22℃ 目標は20℃とする。
③ OＡ機器管理の充実
④ 啓発ポスターの貼付
⑤ ブラインドの活用

- 燃料使用量： ① アイドリング停止の励行、低速走行の励行、急発進の停止
② エアコンの設定温度の見直し
③ 点検・整備の励行
④ 加速・減速の少ない運転
⑤ タイヤの空気圧点検の実施

2) 水使用量 ① 節水に努めます。

3) 廃棄物排出量の削減の取組

- ① 分別ルール of 取り決め(可燃ごみ、不燃ごみ)
- ② 包装資材のリサイクルの見直し
- ③ 裏紙利用
- ④ スキャナーによる電子ファイル化の推進

4) 製品の環境配慮 ① 梱包材の再利用

7. 環境経営目標の実績

環境への取組の実施期間は、2023年1月から2023年12月までの1年間として、2022年基準の0.5%減として策定した目標を実績比較し、次表に示します。

実施比較期間 1年間		2023年度 目標	2023年結果 (2023/1～12)	達成度 増減(%)	評価※ ○or×
二酸化炭素排出量 (kgCO ₂)		9,732	9,780	0.5	×
総エ ネル ギー 使用 量	電気使用量 (kWh)	6,416	6,545	2.0	×
	ガソリン使用量 (ℓ)	3,971	1,506	-62.1	○
	軽油使用量 (ℓ)	823	1,748	112.4	×
廃棄物排出量(kg)		61	41	-32.8	○
OA用紙(kg)		39	43	10.3	×
環境配慮製品の提供		行動目標	梱包の簡素化		○

※は削減目標値を達成した場合は○、未達成の場合は×と表示しています。

注記 排出係数0.271Kg-CO₂/kwhを使用

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画内容

1) 二酸化炭素排出量

電気使用量に関しては、空調の使用が多かったが、新たな機器を一度に使用するようし、電源の管理を行っていきます。
今後も、節電に一層努めて参ります。

昨年の平均走行距離、距離数を伸ばすことが出来ました。
軽油車が中心となったため、使用量が増加しました。

次年度の取組として
電気・ガソリン・軽油共に出来る限りの節約を継続していきます。

2) 廃棄物排出量

事業活動が安定しているため、排出量の削減が出来ました。

3) OA用紙の使用はメールの一斉プリントをやめ、必要な書類のみプリントアウトする様にしました。

4) 製品の環境配慮

通い箱を自社にて作成したため、梱包が不要になったり梱包資材が大幅に削減できました。使用済みの梱包資材の再利用にも心がけました。

5) 水は、トイレと手洗いのみでの使用ですが、節水に取り組んでいます。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果と 違反・訴訟等の有無

環境関連法規等への違反は、ありません。

なお、関係当局からの指摘は、過去3年間ともありませんでした。

環境関連法令等の遵守状況の確認

更新日：2023年12月20日、順守評価日：2024年4月20日

環境関連法令等	適用内容	遵守の確認
廃掃法	分別・リサイクル	遵守
フロン排出抑制法		該当なし
グリーン購入法		遵守
家電リサイクル法	廃棄時	遵守
市民の健康と安全を確保する環境の保全等に関する法律	アイドリングストップ	遵守

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

達成できた目標については、より一層削減に努め、達成できなかった目標については、来期も継続して活動し、目標達成を目指します。

2023年度より3か年の中期環境経営目標を作成し、計画に取り組んでいきます。

環境方針、体制については、2020年9月に見直ししたので、現状を維持します。

2024年1月20日